

“はあと”をつなぐ情報誌



月刊 はあとふるあたご

第70号
【発行】
2011年6月

【発行元】株式会社はあとふるあたご 〒951-8051 新潟県新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地
電話 025(228)5000 FAX025(228)4000 【発行者】木村 淳



春爛漫の花の下

■デイサービスセンター河渡本町■
『すごぼり（新潟市江南区）』にて（関連記事は3ページ）

目次

ホスピタリティ向上委員会より···	2	木陰亭昔語り 第21回···	8
お手軽レシピ···	4	波田野先生のコラム 第24回···	11
バッハ先生のひとりごと 第12回···	5	ユニソンプラザ店だより···	12

ホスピタリティ向上委員会より

■ホスピタリティとは?■

“ホスピタリティ”という言葉は、皆さんも耳にされることがあるかと思います。でも、一体どういうこと?と聞かれると……。

そこで今月は、“ホスピタリティ”とはなにかを、お話させていただきます。

ホスピタリティとは、思いやり、心からのおもてなしを意味しています。“マナー”という言葉は、皆さんもご存じの通り、相手に不快感を与えないための最低限のルールです。ホスピタリティは、このマナーに『心』を加えたものなのです。

あるファストフード店に行った際、コーヒーを注文するとき、スティックシュガーを2本頼みました。次に行ったとき、またコーヒーを注文すると、先回対応してくれた店員さんが、黙ってスティックシュガーを2本準備してくれました。これが、ホスピタリティです。

「どうすればお客様(相手)に喜んで頂けるか?」お客様の立場に立って考えることが、おもてなしの心であり、ホスピタリティの真髄と考えます。これからもこの思いを、職員に伝え続けていきたいと思います。わたしたち“はあとふるあたご”的全社員が、最も大切にしたいものですから(^o^)



ホスピタリティ向上委員会 副委員長 成田 洋子

産田町多機能施設(日和庵)

●新潟名物、笹団子♪♪♪

日和庵では、厨房職員と一緒に、本格的な笹団子作りをしました!

この日は、お客様も職員も全員女性♥ 説明書を見ながら、餡子を丸めたり、お餅とヨモギを捏ねたり…



…意外にも(!?)手際良く作業が進みました。笹の葉でお団子を包むのに少し苦労しましたが、とっても綺麗な笹団子が完成(・?・)/

春らしい暖かな陽気の中、甘~い笹団子とお茶を頂き、ほっこりした気持ちになれました。

・*.*



お菓子作りをはじめ、日和庵では様々なイベントを計画中です☆ これからも、ご紹介していきますので、楽しみにして下さいね♪

デイサービスセンター日和庵 山口 綾香

電話 025-229-2530(デイサービスセンター日和庵) / 025-229-2532(小規模多機能ホーム日和庵)

FAX 025-229-2540(共通)

グループホーム三条

●ホームに響く相撲甚句

4月28日。「雪椿相撲甚句倶楽部」の知野様に来て頂き、楽しい時間を過ごさせていただきました。

拍子木の音も高らかに、素晴らしいお声の相撲甚句を



聴かせていただき、またお誕生日のお祝いとして、お二人のお客様に祝い甚句と、絵番付を頂きました。



合いの手を上手にされる方や、体を使って謡いの拍子をとられる方、皆様、様々な形でとても楽しんでいただけたようです。

知野様いつも有難うございます。また是非いらしてください。お客様と共に楽しみにお待ちしております。

グループホーム三条

難波 淳

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

デイサービスセンター河渡本町

●は～るのうら～ら～の～“すご～ぼ～り～”に～♪♪

春の陽気もうららかな4月、18日(月)～24日(日)の一週間を、お花見ドライブウィークとして、河渡本町ではすご堀に行ってまいりました(^o^)/

楽しくお話しているうち、あっという間にすご堀、到着！！

私達が行った1週間は、丁度桜が見ごろでした。「わあ～、すごい」「綺麗だねえ」などと、感嘆の声を上げながらのお花見となりました(●^o^●)

お花見をしている高校生に挨拶をしたり、“はあとふるあたご”の他の事業所が来ていたので手を振ったりと、普段お会いすることのない方々にも接することができ、楽しいお花見となりました。明るく晴れやかな笑顔が、絶えることはありませんでした♪

帰り道は、河渡本町近くのじゅんさい池公園に寄り道。



じゅんさい池公園は、しだれ桜が綺麗なんですよ(*^*)v また一味違った桜の良さに、お客様の会話はより一層弾んでいるご様子でした。

河渡本町に帰ってきて、美味しいおやつを食べ、今年のお花見ドライブウィークは終了。また来年も皆様とご一緒にするのが楽しみです(*^_^*)

デイサービスセンター河渡本町

瀧澤 祐美

電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010



☆しょうがご飯☆



■じめじめしたこの時期。旬の“新しょうが”的爽やかな辛みと香りで、思わず箸が進む、この季節ならではのご飯です■

<材料> 4人分

米 2合
新しょうが 50g
油揚げ 1/2枚
三つ葉 適宜
だし 370ml
酒 大さじ2
しょうゆ 小さじ2
塩 小さじ1

A

<作り方>

1. 油揚げは、熱湯を回しかけて油抜きをしたのち、水気を切り、ごく細かいみじん切りにする。
2. 新しょうがは千切りにしてザルに入れ、流水に通してから水気を切る。
3. 米を研いで炊飯器に入れ、「A」「1」「2」を加え、普通に炊く。
4. 炊き上がったら、全体をかき混ぜてむらす。茶碗によそい、三つ葉を飾れば、出来上がり♪

デイサービスセンター河渡本町 田中 京子

デイサービスセンター柳都大橋

●よろしくお願ひします！！

この春、柳都大橋に新しいスタッフがやってきました！ 今回は、その爽やかな面々をご紹介します。

まず、右の写真。左から、センター長代理の阿部、介護職員の本間、そして柳都一番の若手となる介護職員、梁取です。自己紹介として、「これから抱負」と「好きな言葉」を教えてもらいました。

阿部 和子（センター長代理）

●お客様といつも楽しく過ごしていきたいと思います。

●好きな言葉「ありがとうございます」

本間 真弓（介護職員）

●ミスをしないように努力します！

●好きな言葉「誠心誠意」

梁鳥 諒（介護職員）

●一日でも早く施設の一員になれるよう、頑張ります。

●好きな言葉「急がばまわれ」



こちら（←）は、新スタッフの看護師、市田です。

市田 礼子（看護師）

●まだまだ慣れない事も多いですが、頑張ります！ よろしくお願ひします。



新スタッフも加わり、柳都大橋は一丸となってこれからも頑張ります！ 皆様よろしくお願ひ致します。

デイサービスセンター柳都大橋

電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335

佐藤 弘康

バッハ先生のひとことに 第12回

～福祉の新時代を開く「障害者基本法の一部改正」～

新潟大学工学部福祉人間工学科 教授 工学博士／歯学博士 林 豊彦

2006年、国連で障害者権利条約が採択された。日本は翌2007年に署名し、国内法の改正に着手した。その成果の第1段として、障害者基本法の一部改正案が今国会に提出された。

第10回で、重度の知的障がい・発達障がいの子どもたちのための「拡大代替コミュニケーション」について述べた。しかし従来は、手話や機器を使った意思疎通手段の確保が法律で保証されていなかった。しかし、改正案の第三条には次の項目が追加された。「全ての障害者は、可能な限り、言語 手話を含む その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保されるとともに、情報の取得又は利用のための手段についての選択の機会の拡大が図られること」

第五条として「国際協調」も新設され、ようやく日本も国際基準で障害者の権利を考える時代になろうとしている。残る問題は、法改正に対して現場が対応できるかどうかだ。私がこの十年間準備してきたことが、ようやく日の目をみようとしている。



土蔵にて
チェンバロ教室発表会
老ひも若きも
音に興ぜり

J.S. バッハ作曲<マタイ受難曲>より
レチタティーヴォ「救い主はひれ伏し」、アリア「私も喜んで行おう」
バリトン：林 豊彦、チェンバロ：八百板正己
会場：ギャラリー「沙蔵」（長岡市）

デイサービスセンター横越

●お花見二題

今年も、桜のお花見ドライブに行ってきました(→)。毎年行っている「すごぼり」は、300本以上もある桜並木を車中から見ることが出来、お客様は大変喜ばれておられました。その他に、北山池公園や横田医院様敷地内にある桜も見事で、何度見ても心が癒されるものですね。



センターの
ハーブ園も、
チューリップやビオラ、アネモネなど、春の花が見ごろです(←)。天気の良い日には、外でお花見をしながら、皆さま楽しく会話されています。ミントやレモンバームなど、ハーブティーで午後のひと時……。そんな日もあり、春を感じながらお過ごしいただいております。

デイサービスセンター横越 大久保 友恵

電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236



グループホーム新津

●外に出よう！

少しずつ、春の暖かさを感じられるようになってきました。

テレビでも、桜や色鮮やかなチューリップなど、春を感じる風景が流れます。

それを見るお客様からも、「チューリップ、綺麗だね～。今度見に行きましょう」「どこかへ遊びに行きた



いな」という声が聞こえてきました。「笹団子が食べたいな～」とおっしゃるお客様も。

買い物、ドライブ、喫茶店、散歩……。外に出て、おいしいものを食べて、一日一日を共に笑顔で過ごしていきたいと思います。写真は、近くの喫茶店に行った時のものと（↑）、ホームの玄関先でのお茶会です（←）。お客様の笑顔を見ると、「よかったです、また行こう！」と思います。私の元気の源です。昔の思い出の場所に出かけるという、思い出ツアーも計画中。

グループホーム新津

米内山 寛規

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889

デイサービスセンターさかえ

●リニューアル！

“デイサービスセンターさかえ”では、5月1日に、開設6周年を迎えました。昨年の5周年感謝祭から、早いものでもう1年。多くのお客様やご家族様、そして地域の皆様の温かいご支援を賜り、誠に感謝致しております。

さてこのたび、心機一転！ホール内のテーブルと椅子をリニ



ューアル致しました。小柄なお客様に合わせて、椅子を2パターンご用意しました。テーブルの高さも調節できます。実は……、椅子の座り心地には、かなりこだわりました。

天井の梁を活かし、木の温もりを感じながら、ゆったりと過ごして頂けたらと思っております。お近くにお立ち寄りの際は、是非ご見学にいらして下さいね。職員一同、お待ちしております。

デイサービスセンターさかえ

梅本 育代

電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739



ディサービスセンター坂井東

● Shall we ダンス？

4月29日、ディサービスセンター坂井東には、社交ダンスのボランティアさんが来てくださいました。総勢25名のボランティアのみなさんは、お客様の手を取ってリズムに乗って踊ったり、職員にステップを教えて下さったり。とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。

そして！な、なんと！！スペシャルゲストとして、映画にも出られた女優さんが見えられました。皆様、「すごいわ～！！」「素敵なお方がいらっしゃったわ～！！」と喜んでおられました。



次回もお待ちしております。ありがとうございました。

ディサービスセンター坂井東 刈田 みゆき
電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

ディサービスセンター城北町

●ニューマジックショーとハーモニカ

城北町では、お客様に季節感を味わって頂けるようになると、常日頃から心がけております。5月は、お客様と一緒に作った、貼り絵の“鯉のぼり”をホー



ルに飾りました。この“鯉のぼり”は、とても大きく、持ち帰ることができません。そこで今年は、簡単に持ち帰れる“ミニ鯉のぼり”も作ってみました！！！(←) ちなみに飾ってあるお花は、センターの庭で咲いたチューリップです☆☆☆



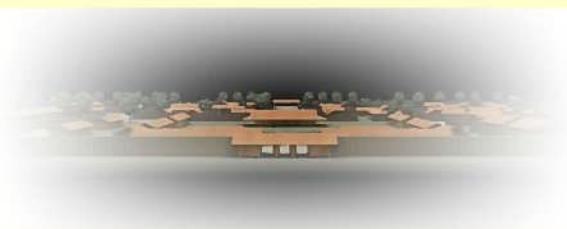
ディサービスセンター城北町 高橋 美穂
電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

【木陰亭昔語り】第21回 ~謎の城柵「渟足柵」~

総務部 経理財務課 斎藤 正明

今回は、沼垂に存在したと伝わる古代の城柵のお話です。

— それでは、木陰亭さんに語ってもらいましょう —



「渟足柵」という言葉を聞いたことがあるかな？ 無い？ 学校では、まだ習わないかの。それなら、沼垂なら聞いたことがあるじゃろ？ そう。新潟駅近くの地名じゃな。渟足柵は、この沼垂にあったと云われてある。渟足柵が造られたのは、飛鳥時代という大昔のことじゃ。大化3年（647年）じゃった。当時の日本には、朝廷に従わない蝦夷という人たちがいた。“柵”というのは、この蝦夷との戦争に備えた前線基地のようなものでな。渟足柵は、日本で最初に造られた城柵と云われとる。なに？ 見に行きたいと？ ほほ。連れてってやりたいのは、山々なれど……。残念ながら、それは無理な相談じゃ。なぜなら……。今となっては、渟足柵がどこにあったのか、皆目わからんからじゃよ。ん？ 沼垂にあったんじゃないって？ 実はな、沼垂という町自体が、転々と移動しておるんじゃ。昔の信濃川や阿賀野川は、大変な暴れ川でな、洪水の度に川筋が変わっておる。その度に、沼垂という町も、移転を余儀なくされて来たんじゃ。あの町は、“沼垂”という地名だけを背負って、転々と土地を移って来た町なんじゃよ。いずれにしろ、飛鳥時代以降、数え切れないほどの洪水が起こっておるからの。川底にならなかつた土地など、河口付近にはないじゃろうな。というわけで、渟足柵の遺跡なぞは、とっくの昔に海に押し流されておるはずじゃて」

画像は、渟足柵イメージ(新潟市歴史博物館/平成19年度企画展「西暦647年にいがた一渟足柵の謎にせまるー」より)

居宅介護支援課

●江戸しぐさとは？

「江戸しぐさ」とは……。

江戸の商人が、商売繁盛と人間関係を円滑に運ぶための知恵として、親から子へと代々口伝されてきたことです。

この「江戸しぐさ」を、授業に取り入れている学校があります。日常のマナー向上と、他者の思いやりの心をはぐくむためだそうです。

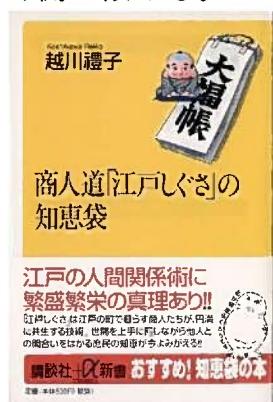
●傘かしげ=雨の日に狭い路地ですれ違う時、ぬれないようにお互いの傘を外側に傾ける。

●こぶし腰浮かせ=混んだ席では腰をこぶしひとつ浮かせて詰める。

●三脱の教え=人を肩書き、年齢、職業で判断してはいけない。

これらの「江戸しぐさ」は、互いに尊重し助け合い、地域で快適に暮らすための「**共生哲学**」です。生活のマナー、互いの思いやり、気づかうことの大切さを教えてくれます。

教養講座や研修会などで、江戸しぐさの普及に取り組んでおられる**越川禮子**さんの著作に、『商人道「江戸しぐさ」の知恵袋』があります。興味のある方は、ぜひ参考にしてください。



居宅介護支援センター柳都大橋

安中 則子

デイサービスセンター松浜

●昭和の日

4月29日『昭和の日』。昔を思い出し懐かしんでいただこうと、昭和初期の写真を貼り出したり、テーブルの上に並べたりしました。

職員が、“もんぺ”に“かっぽう着”、“手ぬぐい”姿で登場すると……。

『どうしょば。どこのしょかと思った』

笑いがあちこちから。

おやつには、駄菓子がつきました。

茶袋に入っていて、開けるのがワクワク! (^_^)!

ミルクせんべい♪ ポン菓子♪ あん玉♪ ラムネ♪



昔は一銭で、塩せんべい5枚、キャラメル5個、買えたそうです。

みなさま、『今日は楽しかったよー』と、おっしゃってくださいました。

デイサービスセンター松浜 番場 恵子
電話 025-255-7701 FAX 025-255-7705

グループホーム五泉

●今年も“じゃがいも”を植えました

4月21日、今年も町内の“こばと保育園”的園児、職員のみなさんと一緒に、“じゃがいも”を植えました。

初めに、園児達から歌のプレゼント。お客様は「かわいいね」と終始笑顔で聞いておられました。その後、お客様、職員も交え、裏の畑に“じゃがいも”を植えました。お客様は、園児のみなさんが“じゃがいも”

を植える姿を



近くで眺められ、目を細めていらっしゃいました。最後に、園児のみなさんとお客様全員で、握手。お客様は、「小さい手だね」「頑張ったね」と、ねぎらいの言葉をかけられたり、園児の頭をなでておられました。今年はどんな“じゃがいも”になるか、とても楽しみです。御協力下さいました地域のみなさま、ありがとうございました。

グループホーム五泉 桐生 直美
電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611



訪問介護課

●～認知症サポーター養成講座を受講しました～

デイサービスセンター柳都大橋で、講師をお招きして開催した「認知症サポーター養成講座」に、32名のヘルパーが参加しました。

分かりやすい例が満載のDVDを見た後、テキストで、「認知症という病気とは？」という基本的な説明を受け、その症状や対応の仕方を学びました。症状といつても多岐にわたっており、又、個人差があるので、対応も慎重でなければならないことがわかりました。講師の先生からは、具体的な例をあげていただき、なるほどとうなづく場面がたくさんありました。

誰でも、自分や家族が認知症になる可能性があります。でも、ちょっとした工夫や援助があれば、在宅で安心して暮らしていくのです。病気を理解し、温かい目で見守るポイントは、“さりげなく、自然に”。それが一番の援助であるというお話に、これなら私達にも何か出来そう！ そう思ったヘルパーも少なくなかったかと思います。

これからも継続して知識を深め、自分に何ができるかを考え、今回の受講で学んだことをサービスに活かしてまいります。

訪問介護ステーション 井村 領子
電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000



水原多機能施設

●春満開 桜とチューリップ✿✿

水原では、お客様と一緒に、安田の新江へお花見ドライブに行きました。天気にも恵まれ、よいドライブが出来ました^o^

川沿いに桜が立ち並ぶ美しい景色に、「夢みたい」「おとぎの国にいるみたいだわ」との声も聞こえました。また来年も来ましょうね。



小規模多機能ホームでは、今年の1月10日に、チューリップの球根を植えました。

「綺麗に咲くといいですね」とお話ししながらも、ホントに咲くのかちょっと不安でした。でも、4月の末に、次々と綺麗な花が咲いてくれました。「大切に育てたからだね」「次は何を植えようか?」と、お客様と考えています(*^_^*)



小規模多機能ホーム水原 五十嵐 貴徳

電話 0250-62-8888(デイ)／0250-62-8886(ショート)／0250-63-1222(小規模多機能ホーム)
FAX 0250-62-8887(共通)

波田野先生のコラム 第24回

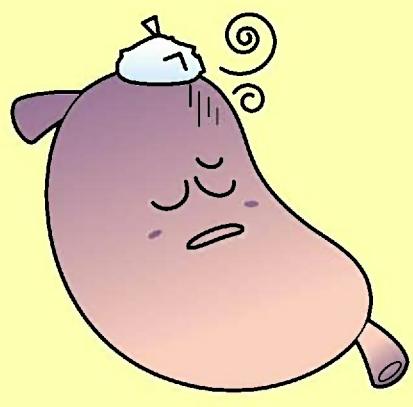
丸山診療所 院長 波田野 徹



『機能性胃腸症について』

最近、「機能性胃腸症（機能性ディスペプシア）」の病態が明らかになってきました。胃もたれや胃の痛みがあっても、胃の内視鏡検査で胃の異常が認められないことがあります。このような胃の症状が数ヶ月に渡って長期に続くとき、この状態を機能性胃腸症と呼びます。

それでは、「機能性胃腸症」はどのようにして発症するのでしょうか？ 原因として、さまざまなストレスや、胃の運動機能障害、胃・十二指腸の知覚過敏などが考えられています。健康な胃では、食べ物が胃に入ると胃が拡張し後に蠕動^{せんどう}が起こって食物が胃液と混ざり、十二指腸に送り出されます。しかし、機能性胃腸症では、胃の広がりが悪く、蠕動運動が弱くなっている間に長く食物が残るため、すぐに満腹感を感じたり、胃もたれ、腹部のむかつきの症状が出やすくなります。また胃液に含まれる胃酸に対しての内臓知覚が過敏となり、みぞおちの痛みや灼熱感を自覚しやすくなります。



「機能性胃腸症」の治療には、胃酸の分泌を抑制する薬や、消化管の運動を改善する薬が有効と考えられています。しかし、機能性胃腸症の病態には、ストレスを背景とした心理的側面も関係していることが、最近の研究で分かってきました。日頃から、ストレスとうまくつきあって、予防に心がけて生活することが重要です。気になる胃の症状があれば、早めにかかりつけの医師に相談しましょう。また、胃がん健診も定期的に忘れずに受けましょう。

★★ 機能性胃腸症の予防 ★★

- 1) 睡眠時間を十分にとる。
- 2) 趣味やリラックスする時間を大切に。
- 3) 食事はゆっくり、楽しい気分で。



丸山診療所[新潟市江南区丸山 472-1] Tel. 025-278-5100

☆ユニゾンプラザ店だより☆

今回は、テレビや新聞でも取り上げられた、『片手で挟める洗濯ばさみ・ありがとう CLIP』をご紹介いたします。

従来の洗濯ばさみは、洗濯物を干すために両手が必要。でも『ありがとうクリップ』は、開いた状態を維持できるので（特許出願済み）、片手でも洗濯物を固定できます。体の不自由な方だけでなく、片手がふさがっているときにも便利なスグレ物！

また、“ありがとう CLIP”を4つ並べた、ハンガータイプの『いちどにありがとう4』もあります。開閉バーを握ると、一度に洗濯物が外れる一斉解放機能も備えています（1つずつでも外せます）。



Imagine it. Create it. Enjoy it.
想像し、創造して、楽しもう。
ありそうでなかったユニバーサルランドリーグッズ



◆福祉用具ショップ◆はあとふるあたごユニゾンプラザ店
〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ 1F
Tel. 025-281-5755 Fax. 025-281-5666
営業時間 9:00~18:00(土日も営業します)

片手で干したり取り込み

イメージクラフトの「ありがとうシリーズ」



この一品

＜開発者から＞

新潟店は、当社役員の男性が創業者。彼の友人の母掛川保代さん自身が片手で干したり取り込む洗濯用品を想いつた。そのアイデアをもとに2人で1年かかりで開発したのが、今回クリップとハンガーだ。体の不自由な人にあって、洗濯物を干したり取り込むのは一苦労。そこで、クリップを設計から先端部が開いているようにして、洗濯物を持ちながら両手で洗濯物をしっかりと保持できる。先端部をまわすと重心部が移動するが1つはどちらでクリップで挟んだ洗濯物を一度外すことができる。

発売元はイメージクラフト（岐阜県羽島市、0574-42-6016）。

（社長の吉田謙さん）

【日経MJ】



【NHK岐阜放送】

「はあとふるあたご ユニゾンプラザ店」
で、実際に触れて、体感していただくこと
ができます。ご来店お待ちしております。

新潟ユニゾンプラザ

～ご意見・ご感想をお寄せ下さい。～

＜連絡先＞(株)はあとふるあたご 新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地 電話 025-228-5000 FAX 025-228-4000
＜編集委員＞岡田 健(委員長)/小笠原 祐司/川田 千鶴子/明田川 伸史/沼田 良/齋藤 正明